

報道用資料

“銃より「えん筆」を、アフガニスタンの子どもたちの手に・・・”
 ~長野「善光寺・大門長学校」地球のみんながひとつになるプロジェクト~
 イランの紅茶とじゅうたんの売り上げで学校建設

創業 164 年の家具屋、松葉屋家具店 + 道具学研究所 (店主 滝澤善五郎 / 所在地 長野市大門町 / U R L <http://www.matubaya-kagu.com/>・店主ブログ<http://ameblo.jp/matubaya/> 以下松葉屋)は、2009 年 4 月 25 日 (土) から 5 月 31 日 (日) まで、『「善光寺・大門町学校」地球のみんながひとつになるプロジェクト』を開催します。

その売り上げの一部を、教育を通じた自立支援を行っている社団法人シャンティ国際ボランティア会 (会長 若林恭英 / 所在地 東京都新宿区 / U R L <http://www.sva.or.jp> 以下SVA) に寄付され、アフガニスタンに学校を建設します。

懸命に生きる子どもたちの笑顔のために

「イランに住むアフガニスタン難民を祖国へ帰してあげたい」鉛筆の代わりに銃をもたされていたアフガニスタンの子どもたちのために、安心して勉強ができる学校をつくりたい」と松葉屋店主は考えました。そこで、ジャララバードに事務所を構え 1980 年より図書館事業・学校建設事業の活動をしている SVA に、支援を申し出ました。

当イベントの売り上げの一部が SVA に寄付され、情勢不安が続くジャララバード市内での学校の建設に充てられます。

イラン遊牧民によるじゅうたん織りの実演

7 年に一度の善光寺御開帳の期間中、松葉屋店頭でイラン式紅茶 “チャイ” の試飲・販売と、“ギャッベ” と呼ばれるじゅうたんの展示会「大地と空、火と草色のじゅうたん展」開催・じゅうたん販売が行われます。

当イベントのためイランから遊牧民の家族が来日し、民族衣装をまとい、草木染の美しいじゅうたん “ギャッベ” の手織りデモを行います。また、日本では珍しいサモワールという茶器を用いて、炭火でお湯を沸かす本格的なイラン式チャイもふるまわれます。

イベント概要

日時 : 2009 年 4 月 25 日 (土) から 5 月 31 日 (日)
 会期中無休
 会場 : 松葉屋家具店
 営業時間 : 9:00 ~ 18:00



<当リリースに関するお問い合わせ・お申込み>

松葉屋家具店 + 道具学研究所	店主 滝澤 善五郎 (たきざわ ぜんごろう)
所在地 : 長野県長野市大門町 45	電話 026-232-2346 FAX 026-237-4558
ホームページ : http://www.matubaya-kagu.com/	
ブログ : http://ameblo.jp/afghan-school/	
メールアドレス : since1833@matubaya-kagu.com	